



神奈川イグレンニュース

<第193号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F
Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

2018年12月号

イベントのお知らせ

→ 第78回 西湘サロン

日時	平成31年1月15日（火）午後6時～8時（開場5時30分）
場所	おだわら市民交流センターUMECO（JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内容	話題：「人生が華やぐ自分史を書いてみませんか？」 株式会社ヴァンビー 代表/VanBee Book 編集者 樋口 薫 一般社団法人 自分史活用推進協議会 自分史活用アドバイザー
参加費	1,500円（当日）

→ 三陸いわて未来を創る交流会

日時	平成31年1月15日（火）午後6時～8時30分
場所	レストランテ・ベニーレ・ベニーレ原宿店 東京都渋谷区神宮前4丁目31-10 YMスクウェア原宿5階
内容	「三陸いわて～復興の息吹を感じてください！」 東日本大震災からもうすぐ8年。三陸いわてから新たな挑戦が始まっています。ぜひ復興の息吹を感じ、励ましの輪を広げてください。 【主催等】 主催：岩手県・公益財団法人いわて産業振興センター 共催：オリンピック・パラリンピック等経済界交流会
参加費	3,000円/お一人様（お飲み物、お料理付）

※ どちらのイベントも詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

- 1. 川異研通信..... 2 ページ
 - 2. 閑中閑話..... 3 ページ
- 巻末 第78回「西湘サロン」のご案内
 「三陸いわて未来を創る交流会」のご案内

→ 【川異研通信】

9月定例会



【質疑応答に熱が入る参加者】

9月13日（木）当所にて9月定例会を開催した。会員15名、オブザーバー2名、和光大学学生8名の参加者を得た。講師に、青山学院大学 教育人間科学部心理学科教授 平山栄治氏を迎え、「従業員の健康と経営管理」と題し講演が行われた。

現在、労働安全衛生法により、従業員50人以上の企業は、ストレスチェックを行うことが義務付けられている。50人未満の企業にも努力目標とされており、従業員のメンタルヘルスの不調への気づきや、ハイリスクへの対応が重要視されている。実際臨床心理士として多くの

クライアントと向き合う日々を送っておられる講師のもとにも、ストレスチェックをきっかけに受診される方が増えているという。

講演は、経営者としてどのような問題や疑問があるのかを、参加者からざっくばらんに講師に投げかけ一緒に考える形式で進んだ。抑うつ状態の従業員への接し方や、大人の発達障害への対応など、現場で起こっている問題から、精神力を鍛える方法があるかといった素朴な疑問まで、幅広い質問が寄せられた。臨床心理学者と話す貴重な機会に、参加者一同熱心に耳を傾け大変好評を博した講演となった。懇親会は場所を移し、講師にも参加いただき膝を交えた深い交流会となった。

9月勉強会

9月6日（木）中原市民館にて、9月勉強会を開催した。会員5名、和光大学生4名、見学者1名の参加者を得た。

今回は、「働き方の現状と今後の課題」と題し、法政大学教授 坂爪洋美氏による講演が行われた。今年働き方改革関連法が成立し、長時間労働、人手不足問題等を背景に、働き方が問題になっている。講演では、働き方改革が目指すものは何か、労働時間削減は何故必要なのかなど、原点に立ち返って考察された。「残業」に潜む奥深い問題、様々な原因、具体的な事例を聞き、参加者からも自社の状況や問題点など、活発な意見が述べられた。その後に行われた懇親会でも、働くこと、人材育成などについて熱く語り合った。身近なテーマでもあり、好評を博した勉強会となった。

→ 閑中閑話

12月23日の平成天皇の天皇として最後の記者会見はなかなか興味い内容でした。

第一に、日本国憲法の下での象徴天皇として、望ましい在り方を追求してきたということ。昭和天皇も象徴としての位置づけではあったが、明治憲法の下で絶対的権力者として在位した歴史を持っていたことから言えば、名実ともに、象徴としての在り方を模索・実践してきた人物でしょう。

第二に、マスコミでも大きくとりあげていましたが、沖縄に対する視線です。昭和28年に奄美群島が、昭和43年に小笠原諸島が復帰し昭和47年に沖縄が日本復帰を果たしたが、「沖縄が先の大戦を含め実に長い苦難の歴史をたどってきた」こと、「沖縄の歴史や文化を理解するように努めてきた」が今後も「沖縄の人々が耐え続けてきた犠牲に心を寄せていく」という発言は、沖縄の人達の民意を無視して強権的・強圧的に沖縄に接している政府の思想とは、かなりレベルが違うものです。

第三に、平和に対する思いです。「先の大戦で多くの人命が失われ」、「戦後の平和と繁栄が多くの犠牲と国民の努力によって築かれたこと」を「戦後生まれの人々にも正しく伝えていくことが大切」という主張は、戦前回帰的な歴史教科書を教育現場に押し付け、正負様々な面を持つ日本の近代の歴史を「明治150年」と喧伝するアナクロニズム（個人的にはNHKの大河ドラマの「西郷どん」もその流れだと思います）とは相容れないものでしょう。

第四に、現在大きな問題になっている外国人労働者についてです。勿論天皇の政治的発言は憲法上許されていませんから、一般論としていますがなかなか含意に富むものです。「近年、多くの外国人が日本で働くようになった。日系の人たちが、それぞれの国で助けを受けながら、社会の一員として活躍しているように、外国から日本に来ている人々を、社会の一員として暖かく迎えることが出来るよう願っている。」

「労働力不足」を口実に、時給300円で働かせ、大けがしても労災どころか餓首にする等、外国人労働者の基本的人権もまともに守られていない実態をそのままにして、十分な審議もせずに30万人以上の外国人労働者を受け入れようとする政治の現状は、外国人労働者を「社会の一員として暖かく迎える」には、程遠い様な気がします。

因みに天皇が皇太子時代、1945年元旦の書き初めは「敵国降伏の春」だったが、1946年敗戦直後の学習院初等科六年の時の書き初めは「平和国家建設」であったとのこと。（「9条誕生」塩田純著岩波書店）

2020年には憲法改正の年にしたいと安倍さんは意気込んでいますが、突出する国防予算や攻撃型軍備の増強への傾斜を観るにつけ、来年は「平和国家建設」の闘ぎあいになりそうな予感です。

(愛賢司)

皆様、良いお年をお迎えください。

来年も宜しくお願い申し上げます。



神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

神奈川イグレン事務局

〒231-0015

横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7階 インキュベートルーム 703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」
第78回西湘サロン開催のお知らせ

【日時】：平成31年1月15日（火）午後6時～8時（開場5時30分）

【場所】：おだわら市民交流センターUMECO (TEL:0465-24-6611)

【会費】：参加費1,500円（当日）

* 次回 79回予定：平成31年3月4日（月）（開催時間、場所は今回と同じ予定です）



1. 話題：「人生が華やぐ自分史を書いてみませんか？」

株式会社ヴァンビー 代表/VanBee Book 編集者 樋口 薫
 一般社団法人 自分史活用推進協議会 自分史活用アドバイザー

皆いつか書いてみたい自分史。

自分史を書いてみようと思うけれど、手始めに何をしたらいいのだろう・・・？

自分史って誰に向けて書く本なの？予算はどのくらい？

せっかくの機会ですから、何でも聞いてみましょう！

特許翻訳専門会社が自分史制作事業部を立ち上げました。お客様との間に出版契約書を締結している会社です。日本語と英語で書かれた自分史をオーダーメイドでお作りしています。初めて手掛けた一冊を回覧していただきます。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）

テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

団体での参加申し込み先：神奈川県異業種連携協議会事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

Tel & Fax 045-228-7331 (担当：吉池)

3. 場所



JR 小田原駅東口より
徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）(TEL:0465-24-6611)



個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込書（西湘サロン）Tel & Fax 045-228-7331

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()

三陸いわて

未来を創る交流会

「三陸いわて～復興の息吹を感じてください！」

東日本大震災からもうすぐ8年。三陸いわてから新たな挑戦が始まっています。ぜひ復興の息吹を感じ、励ましの輪を広げてください。

- 1 日時 2019年1月15日（火） 18:00～20:30
- 2 場所 リストランテ・ベニーレ・ベニーレ原宿店
東京都渋谷区神宮前4丁目31-10 YMスクウェア原宿5階
- 3 参加費 3,000円／お一人様（お飲み物、お料理付）

第1部

●オープニング・プレゼンテーション

三陸いわての復興と未来

岩手県副知事 千葉 茂樹

●未来を創るプレゼンテーション

① 太陽の味がするフルーツほおずきを

岩手発～世界の逸品に！早野 崇 (有)早野商店



② こだわりの麺で

“日本一の川喜”を実現！ 川端 力喜 (株)川喜



③ 三陸をステージに三陸を誇りに “三陸王国・宮古イカ王子プロジェク ト”



鈴木良太 共和水産(株) 花坂雄大 花坂印刷工業(株) 盛岩幸恵 アートエリーズ



●復興プレゼンテーション

2019.3三陸鉄道全線開通

中村一郎

(株)三陸鉄道社長



第2部

●三陸いわての未来を語る交流会

岩手の食材をふんだんに使った料理とお酒でプレゼン企業関係者と交流してください。各社商品の試食と販売も行います。



[総合司会]

北三陸の海女girl

藤織ジュン

内容、構成は変更となる場合がございますのでご了承ください。

三陸いわて未来を創る交流会（ご案内）

【開催の趣旨】

千年に一度の未曾有の大災害に見舞われた"三陸いわて"は、もうすぐ8年を迎えます。この間、日本中、世界中のご支援により、一歩ずつ復興の歩みを重ねて来ました。そして、いま、復興の先頭に立つ地域の未来のリーダーたちが新たな挑戦を開始しました。

2019年は、被災地で唯一となるラグビーワールドカップ2019釜石大会も開催されます。

ぜひ、三陸いわての復興の息吹を感じていただき、引き続き、励ましの輪を広げていただきたい。

【主催等】

主催：岩手県・公益財団法人いわて産業振興センター

共催：オリンピック・パラリンピック等経済界交流会

【日時・場所】

2019年1月15日（火）18：00～20：30 リストランテ・ベニーレ・ベニーレ

【次第】

第一部 18：00～19：00

①オープニング・プレゼンテーション

「三陸いわての復興と未来」 岩手県副知事 千葉茂樹

②未来を創るプレゼンテーション

「太陽の味がするフルーツほおずきを岩手発～世界の逸品に！」 (有)早野商店 取締役 早野 崇

「こだわりの麺で"日本一の川喜"実現に向けて！」 (株)川喜 社長 川端 カ

「三陸をステージに三陸の誇りに`三陸王国・宮古イカ王子プロジェクト」

(株)共和水産専務 鈴木良太×花坂印刷工業(株)社長 花坂雄大×アートエリーズ 代表 盛岩幸恵

③復興プレゼンテーション

「2019.3三陸鉄道全線開通」 (株)三陸鉄道 社長 中村一郎

第二部 19：00～20：30

三陸いわての未来を語る交流会

岩手の食材とお酒で、三陸いわての未来を語り合いましょう！

※内容、構成は変更となる場合があります。

【申込方法】

下記「お申込み欄」に必要事項を記入のうえ、FAX又はメールでお申し込みください。

＝◆お申込み欄◆＝＝

氏名	
所属 (企業・団体)	
職名	
連絡先 (TEL又はMail)	

【お申し込み先】

◆オリンピック・パラリンピック等経済界協議会構成企業及び関係者様

☞三井住友海上火災保険(株) FAX：03-3259-9322

E mail：keiichi.sawayanagi@ms-ins.com

◆上記以外の方

☞いわて産業振興センター FAX：019-631-3824

E mail：f_fukushima@joho-iwate.or.jp